



# ティーンズの本棚

2023年 8月 第161号  
(月1回発行)  
半田市立図書館  
tel 0569-23-7171  
亀崎図書館  
tel 0569-29-5060

## 本で旅をしよう! 「京都」

1964年、京都の玄関口に建てられた京都タワーは、高さが131mで、「灯台」をモチーフとして設計されました。

### くらべる京都 おかべたかし 岡部敬史/文 やまてたかし 山出高士/写真 東京書籍 (291/枚)



日本を代表する観光地であり、長い歴史のある京都。京都にまつわる様々な事柄を「くらべて」、新たな発見をする本です。

例えば、夏の京都の風物詩として紹介されることの多い「川床（かわどこ）」と「川床（かわゆか）」、本当に涼しい場所はどちらでしょう？世界遺産の「東寺」には対をなす「西寺」があったって本当？思わず誰かに話したくなる京都のひみつが、風情のある写真とともに紹介されています。

## 新しく入った本

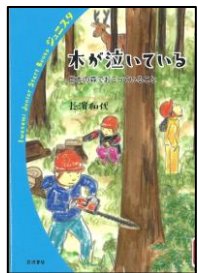
### 金曜日のあたしたち はまの きょうこ 濱野京子/作 静山社 (T913/冊)



陽葵は、受験に失敗し、第2志望の学校に通う高校一年生です。  
ある日、駅前でプラカードを持った高校生を見かけます。そこに書かれていたのは「気候時計、知ってますか？タイムリミットまであと6年！」。その言葉に興味を持った陽葵は、活動していた高校生に話をきき、自らも調べることにしました。今の自分と、温暖化が急速に進む地球の未来を少しでも変えるべく、陽葵は動き出します。

### 木が泣いている 日本の森でおこっていること

ながはまかすよ 長濱和代/著 岩波書店 (T652/冊)



日本は国土の約7割が森林です。豊かな森は、災害や温暖化を防いだり、野生動物のすみかになります。ほかにも木材や食料を産み出すなど、私たちの生活に欠かせません。しかし今、林業の衰退によって森の荒廃が目立つようになり、災厄が起きています。森林が持つ多面的機能を理解して、私たちにはどのような取り組みができるのか、考えてみませんか。

## 「本の森 (YA図書を読む会)」 のオススメ本

### モンテレッジオ小さな村の旅する本屋の物語

うちだようこ 内田洋子/著 ほうじょうしゃ 方丈社 (024/冊)



イタリアの奥深い山の中に、栗の木と石しかない貧しい村、モンテレッジオがありました。自然災害が起きた1816年、行商人たちは、聖人の祈祷入り御札と生活暦を売り歩きました。これによって飢餓に苦しむ人々は、神からの加護を見出し、暮らしに役立つ情報を得て、苦難を乗り越えます。やがて商人たちは、待つ人の好みや時勢に合った本を、担いで売ることになり…。本屋の原点ともいわれる行商人のお話。

YA = Young Adultの略。10代の若い人をさす言葉です。「本の森 (YA 図書を読む会)」では、半田市立図書館で2か月に1回、読書会を行っています。

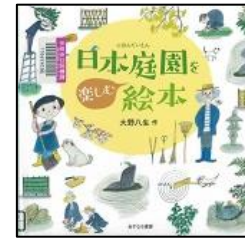
## 6類の本



図書館の本は、日本十進分類法によって分類されています。今月は「6類」の本を紹介します。6類には、農業、水産業、商業、交通や通信などに関する本があります。

### 日本庭園を楽しむ絵本

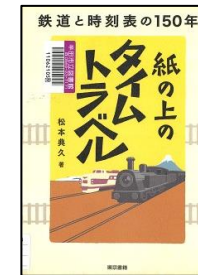
おおの やよい 大野八生/作 あすなろ書房 (J629/冊)



日本には、美しい日本庭園がたくさんあります。石や砂を使って、自然の景観をあらわした「枯山水」、陽を取り込むために家の奥につくられた「坪庭」など、ひとくちに日本庭園といっても、さまざまな種類があります。この本では、庭園の特徴や歴史はもちろん、庭に欠かせない石や水、灯籠についても解説しています。知識を深めた後は、ぜひ日本庭園に行ってみましょう。

### 紙の上のタイムトラベル 鉄道と時刻表の150年

松本典久/著 東京書籍 (686/冊)



日本で初めて鉄道が走ったのは、1872 (明治5)年、新橋～横浜間です。式典があった新橋停車場では、万国旗や紅白の提灯などが飾られ、雅楽が奏でられる中、明治天皇が御召列車に乘車されました。その2年後には関西で運転が開始され、1880 (明治13)年には、北海道でも鉄道が走りました。

鉄道の歴史を、当時の時刻表や貴重な写真で紹介した本です。



半田市立図書館キャラクター  
ブックんとしおりちゃん

図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、電子書籍の利用も可能です (インターネット登録が必要です) 詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.handa.lg.jp/tosho/bunka/gejutsu/toshokan/toshokan.html>